

協会けんぽ福島支部の調剤レセプトにおける ジェネリック医薬品使用割合について

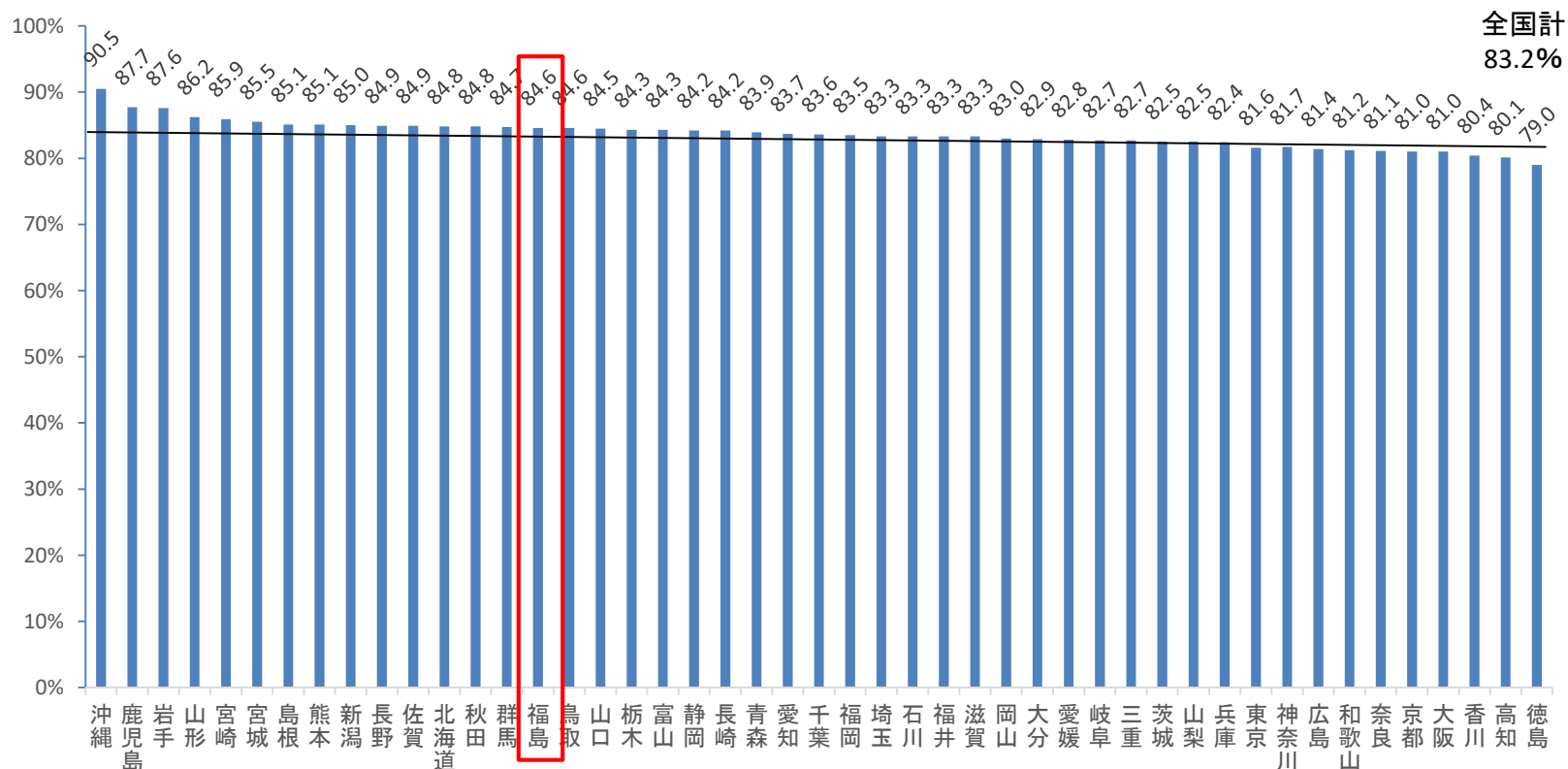
令和4年1月11日

目次

内容		ページ
1. 令和3年6月の 使用割合	① 福島支部と全国(協会けんぽ都道府県支部)	3
	② 二次医療圏別	4
2. 使用割合の推移	③ 福島支部と福島県(医療保険計)	5
	④ 二次医療圏別	6
3. 前年同月からの 伸びの比較	二次医療圏別	7
まとめ		

注. 協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプト)について集計したもの(算定ベース)

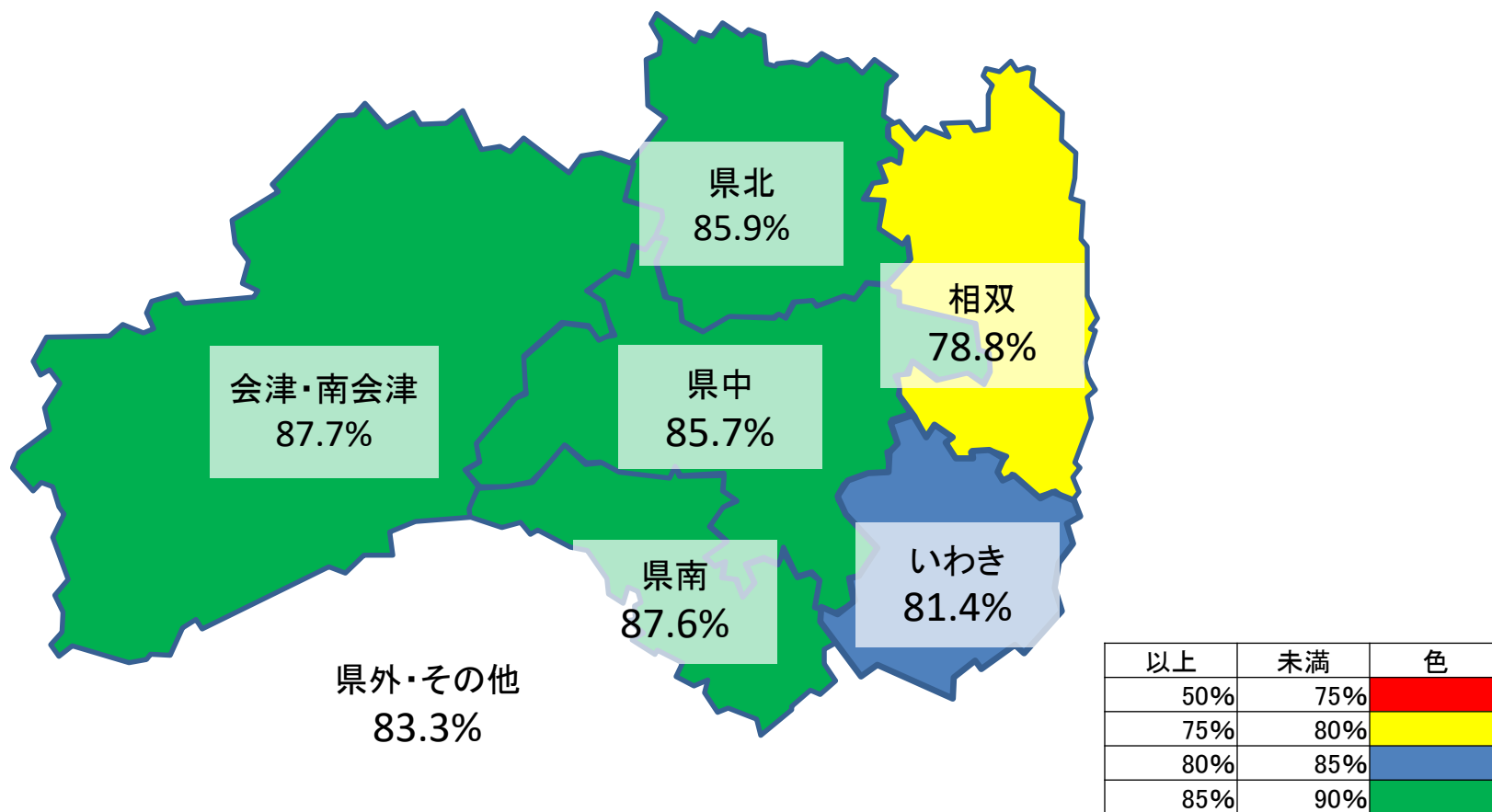
1-①. 福島支部のジェネリック使用割合（令和3年6月）



注1.協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプトに限る)について集計したもの(算定ベース)。
 注2.「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注3.加入者の適用されている事業所所在地別に集計したもの。
 注4. $\frac{\text{後発医薬品の数量}}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}])}$ で算出している。

令和3年6月の福島支部のジェネリック使用割合は、全国15位(84.6%)で、全国平均(83.2%)を上回っている。

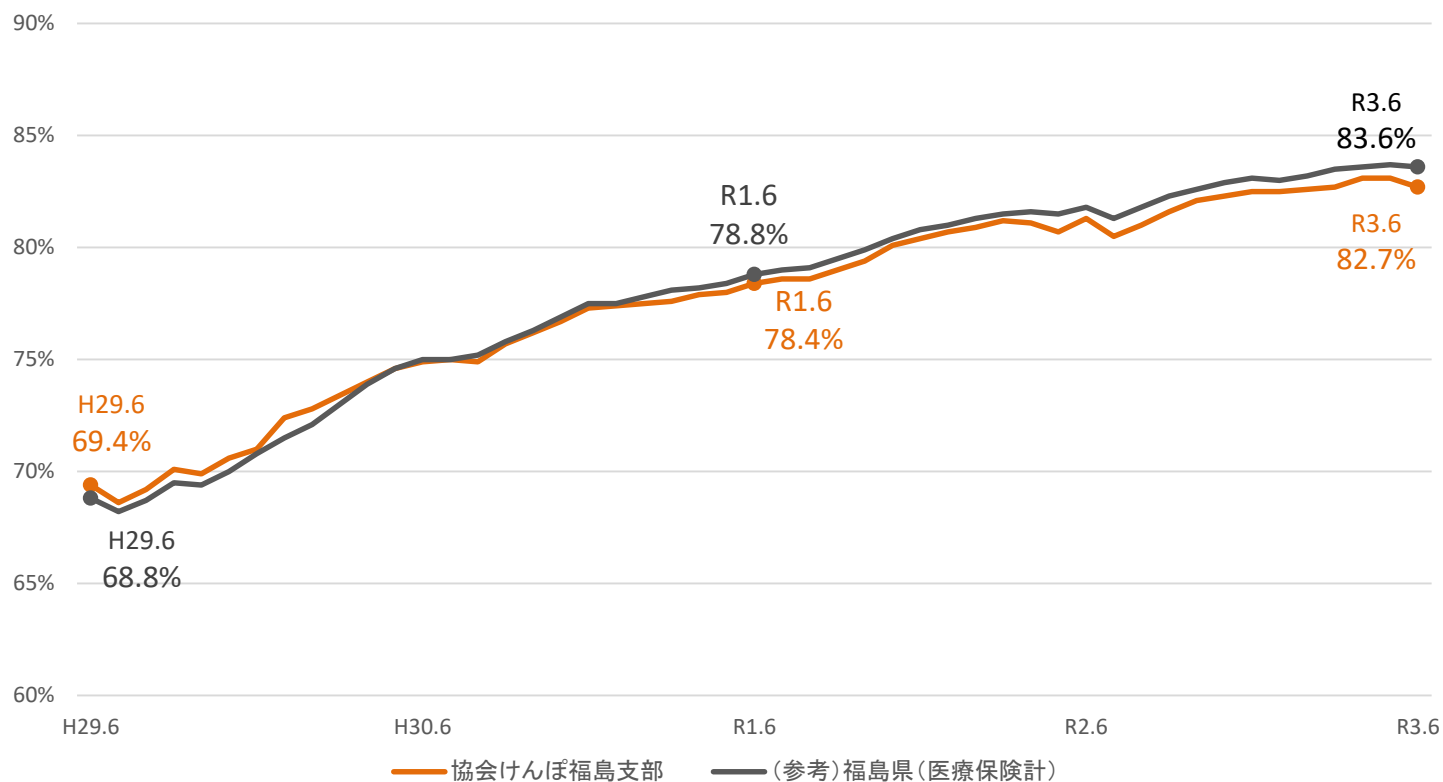
1-②. 二次医療圏別ジェネリック使用割合（令和3年6月）



福島県内に事業所がある加入者の調剤レセプトデータを、処方した調剤薬局の所在地ごとに集計した。

二次医療圏別にみると、県北、県中、県南、会津・南会津の各地区において全国平均(83.2%)を超えている一方で、いわき・相双地区は下回っている。

2-①. 福島支部の使用割合の推移



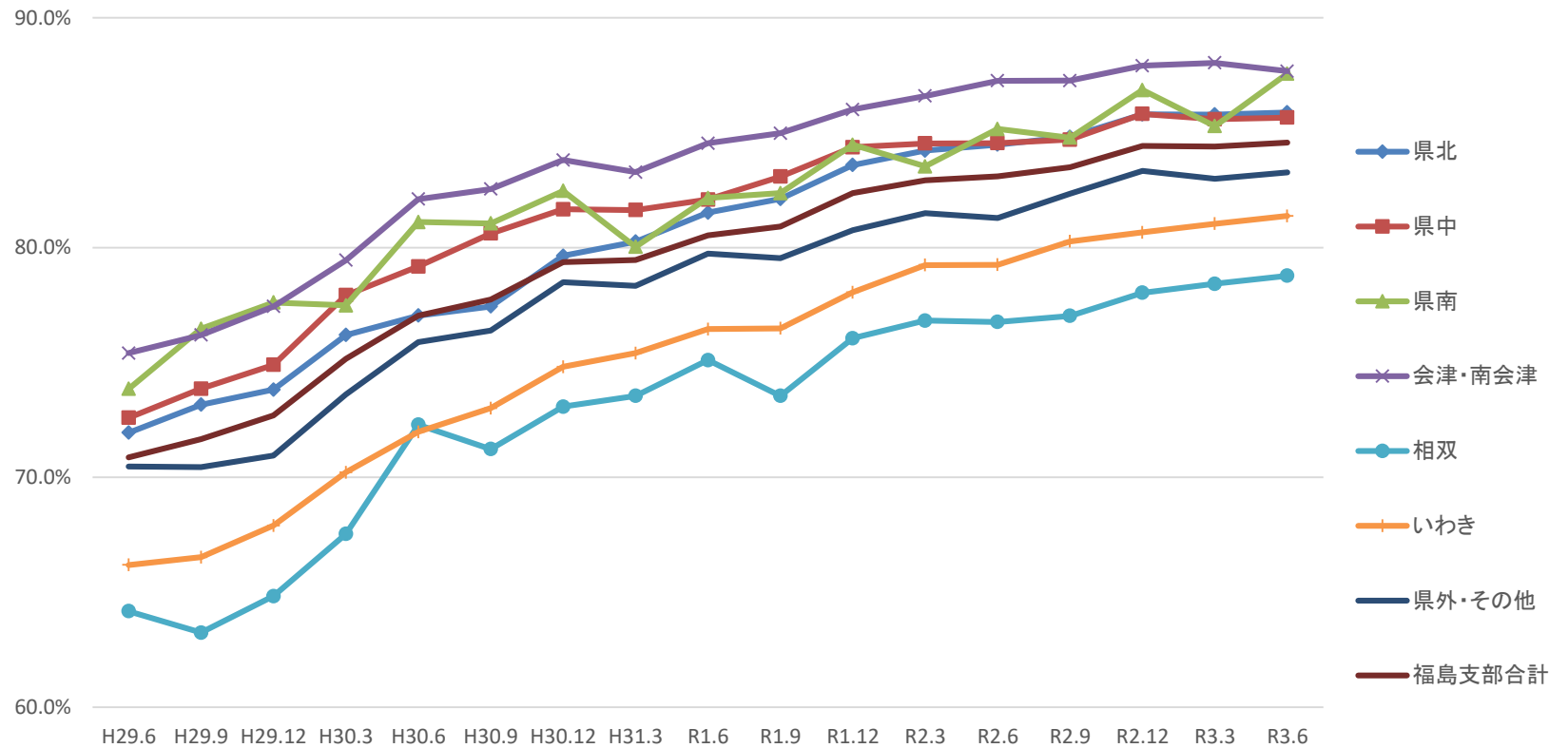
協会けんぽ福島支部データ:医薬品使用状況(協会けんぽHP)
 福島県(医療保険計)データ:最近の調剤医療費の動向(厚生労働省HP)をもとに作成

注1.協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプトに限る。)について集計したもの(算定ベース)。

注2.加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したもの。

福島支部のジェネリック使用割合は、福島県(医療保険計)とほぼ同じ割合で推移している。

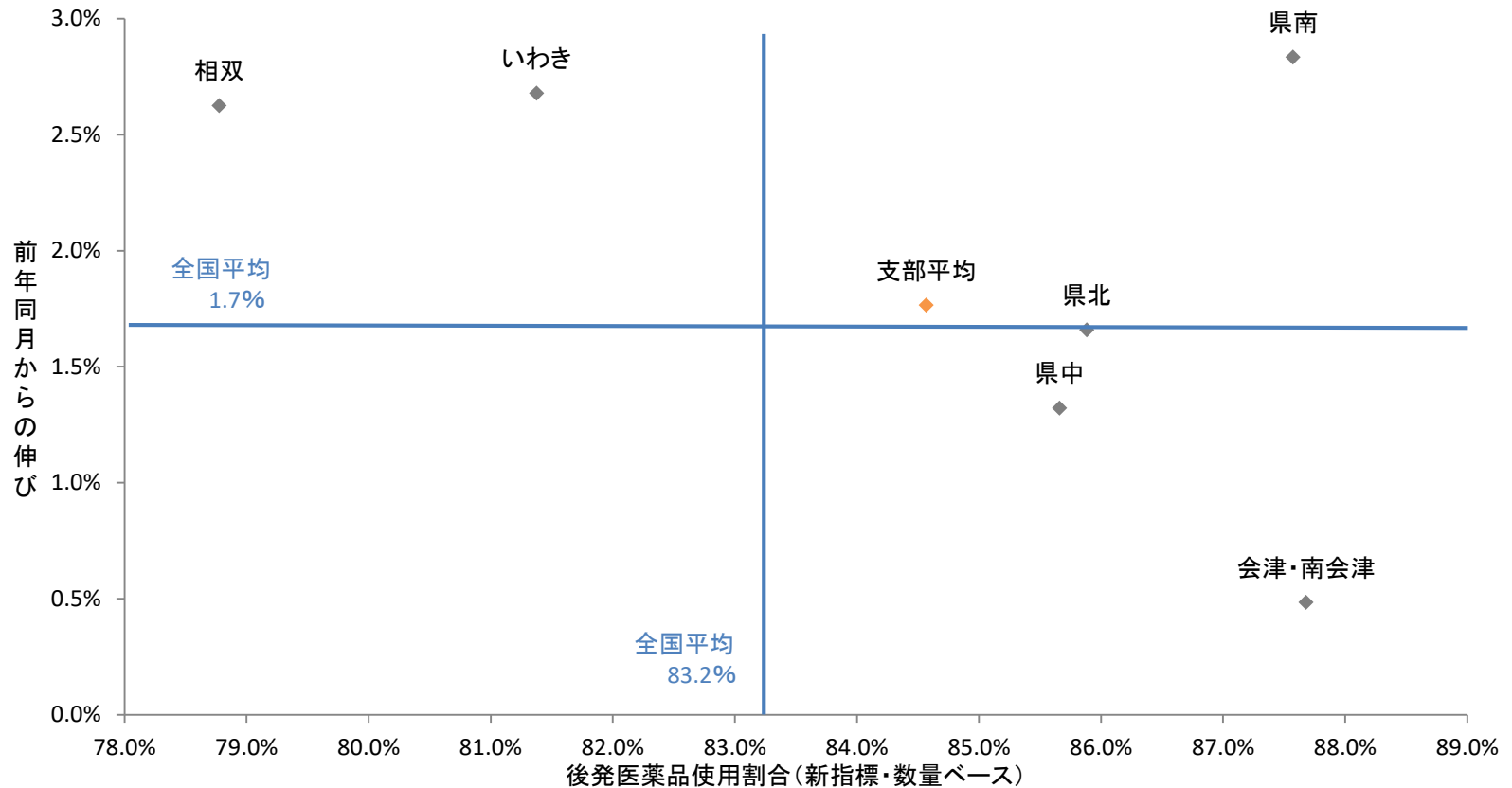
2-②. 二次医療圏別の使用割合の推移



福島県内に事業所がある加入者の調剤レセプトデータを、処方した調剤薬局の所在地ごとに集計した。

すべての二次医療圏内において、ジェネリック使用割合は概ね右肩上がりで上昇している。

3. R2.6とR3.6の伸びの比較（二次医療圏別）



福島県内に事業所がある加入者の調剤レセプトデータを、処方した調剤薬局の所在地ごとに集計した。

相双・いわきの各地区の使用割合は福島支部平均以下であるものの、使用割合の伸びが大きく、県南地区は使用割合・伸び率ともに大きい。使用割合が高い会津・南会津、県中については、使用割合の伸びが全国平均を下回った。

まとめ

- 福島支部のジェネリック医薬品の使用割合は全国15位と、前年同月の全国17位から2位順位を上げている。
- 二次医療圏別にみると、会津・南会津は使用割合が高いものの、前年同月からの伸びは鈍化している。一方で、相双・いわきは福島支部平均以下の使用割合であるものの、伸びが大きい。また、県南は使用割合と伸び率ともに高くなっている。今後も引き続き相双・いわきへのアプローチが重要に思われる。